

# 再構築小委員会 基本方針

H21.12.21

1. 学園の理念とミッションの確立
2. 学部学科の改組・再編
3. 財政の中長期計画の策定
4. 教育・研究システムの検討及び学修支援の強化
5. 社会貢献の推進

## ワーキンググループの検討案件

全学的視座に立って、以下の3グループに分かれて検討する。但し、必要に応じて、2つ以上のグループが共同で問題の検討を行う。

### (I) 基本問題検討ワーキンググループ

#### 方向性

- ① 学園の理念とミッションを確立し、経営理念と教学理念の策定、ガバナンスの確立、組織運営の円滑化を図る方策を検討する。
- ② 本学の教育・研究・学修支援の強化および社会貢献を実現するため、経営資源の運営基盤を再構築し、財政の中長期（3年～10年）計画を検討する。

#### 検討案件

1. 「建学の精神」の意味を時代に即応した解釈に要約・提示
2. 学部学科の改組・再編
3. 財政の中長期計画の策定
4. 学園のキャンパスおよび施設・設備の整備充実の方策
5. 事務組織の組織再編
6. 大学センター化構想
7. 図書館・附属病院等大学機関の組織運営
8. 寄附行為の見直し
9. 就業および給与体系の見直し
10. 目標管理及び人事考課
11. 仏教文化研究所の学内・学外の諸機関との関わり方

## (II) 教育・研究システム及び学修支援検討ワーキンググループ

### 方向性

- ① 教員・職員・学生及び生徒の三者協働体制のもと、教育目的・目標を設定し、教育の質の保証・向上システムを構築し、併せて教育・研究と学生・生徒支援が一体化する学園の総合的方策を検討する。
- ② 学齢人口の減少、入学志願者および入学者の減少といった現下の状況の下、アドミッションポリシーに基づく学生等を確保するための基本方針を策定するとともに、それに基づく入試制度改革および戦略的募集を行う方策を検討する。

### 検討案件

1. 教育目的・目標を設定し、教育方法の改善
2. 教育の質の保証・向上を担保できる教育改革・カリキュラム改革
3. 国際交流の推進
4. 教育・研究の充実を図り、外部資金獲得の方策
5. キャリア教育、サポート体制の充実方策
6. 課外活動の活性化と課外教育プログラム充実方策
7. 奨学金制度
8. 学生相談体制
9. 学生・生徒生活環境の整備
10. 全学共通教育のあり方
11. 入学者確保に関する基本方針の策定
12. 高大連携に関する新たな制度の確立
13. 外国人留学生、社会人、アクティブシニアの受け入れ方針と施策

## (III) 社会貢献・地域連携検討ワーキンググループ

### 方向性

- ① 学園の社会貢献を強く意識し、鶴見大学の知的資源を広く社会に還元する方策を検討する。

### 検討案件

1. 学園と地域社会との連携の整備・拡充
2. 大学連携（コンソーシアム）の推進
3. 社会人を対象とした学習機会の整備
4. アクティブシニア層を対象とした学びの機会の提供
5. 産官学・知財連携制度の推進
6. 生涯学習センターの設置の検討
7. 同窓会との連携推進